

【安全安心グループ】穂高東中学校 小岩 直紀

私は、穂高東中学校二年、小岩直紀です。

安全・安心グループは五人で構成され、環境・防災・交通安全について学習してきました。

僕は地震などの災害後の対策について質問します。安曇野市は近い将来災害が起こる可能性があるためです。

まず、地震についてですが、安曇野市は山に囲まれ、川もあります。そのため、土砂災害などの二次災害に見舞われる可能性があります。また、液状化現象が起こる可能性もあります。これが起こりますと、家や建物、上下水道管、電柱、畑に被害が及ぶと考えられます。

次に、集中豪雨についてですが、集中豪雨により、洪水が起こると、安曇野名産のニジマスやわさびなどに被害が及びます。また、家屋への被害なども考えられます。

僕は安曇野で将来、起こる可能性のある災害前と後の対策が必要だと思っています。

対策の具体的な例ですが、学校などでの勉強会や災害から身を守るための詳しいガイドブックなどを配ることや、災害後であれば、家屋の再建の他に、ニジマスやわさびなどの名産品の生産地に再建費を出すことです。

安曇野市は具体的にどのような対策を作り、その対策を実現していますか。

【ご担当部 総務部】

【安全安心グループ】豊科北中学校 戸田 貴也

私は、豊科北中学校二年、戸田貴也（とだ たかや）です。

私は、交通安全、特に高齢者運転の安全性についてお尋ねいたします。

長野県は、長寿の県です。ここ安曇野市も高齢者率の人口比率が増加しています。公共機関が発達していない長野県や安曇野市では、高齢でも運転しなくては生活できない状況です。したがって高齢者が事故の被害者になってしまうことも多いのですが・・・高齢者の運転率が高いので事故の加害者になる場合も多くあります。しかし、高齢者が事故の加害者になってしまうことを防いでいかななくてはいけないと思います。そのために私は次のことを提案致します。

運転免許自主返納を大きく呼びかけ、現在、「あづみん」がありますが、もっと利用して頂けるように情報の提供、利便性の向上が必要だと思います。その具体策として、次の二つを考えました。

一つ目は、私は、病院の先生に協力して頂いて、運転能力の判断をしてもらい、警察への連絡、そして判定、最終的には強制返納までをお願いできたらと思います。運転免許を取り上げるのではなく、「代わりに運転してもらえる」という考え方を提供すべきだと思います。

二つ目として、安曇野市は、高齢者へ「あづみん」利用についての情報提供を積極的にしたら良いと思います。市民へのお知らせではなく、高齢者へのメッセージを発信したらいいと思います。新聞の広告なら、文字を大きくし、病院でのチラシ配布、デイサービスでのチラシ配布など、高齢者の手に情報誌が渡るように工夫した方がいいとも思います。

そして、事故の加害者になる事の怖さも知ってもらいたいです。また、「あづみん」の利便性を高めるために、利用者の声を聞くことも必要と考えます。

これからどんどん高齢化社会になってきます。高齢者と若い世代が車社会で協力して生活することにより、高齢者が若い命を奪うことを防げると思います。

【ご担当部 市民生活部】

【安全安心グループ】 三郷中学校 百瀬 瑛都

僕は、三郷中学校二年、百瀬瑛都です。

僕は交通安全についてお尋ねいたします。

僕は中学校に歩いて行っています。そこで通学中よくこんな光景を見ます。それは、左側通行をしているんです。意識しなくても右側通行は、当たり前でできるはずだと思っています。他にも、広がって歩いているのも見られます。思えば、小学校の下校時などは車のあまり通らない通学路だったので、グリーンゾーンからはみ出て歩いている人たちがいました。その時からの、安全に対する意識の低さが中学生になってからも続いているのかもしれない。

これをふまえて、車両ばかりではなく、歩行者のマナーにも問題があると思います。

このことについて、僕は歩行者としての最低限のマナーを意識して行動していきたいと思っています。そして、まずは身近な友達にも意識してもらえるように、僕が呼びかけていきたいと思っています。

このことに対し、自分だけでは全ての人が歩行者のマナーを守れるとは思いません。そこで、市の方では、保育園などの小さな時から歩行者としてのマナーを習慣づけてもらえるように講習会などを開いたりして、お年寄りの方にも来てもらったりしながら歩行者のマナーをもう一度確認できる場を設けていただきたいと思います。

そして、講習会では、自分から積極的に参加し、自分が歩行者のマナーを徹底してできるように取り組みたいと思います。

そして、安曇野市全体が歩行者のマナーを出発点として、交通安全の大切さを知ってもらい今以上に安心、安全な街になればと思います。

【ご担当部署 市民生活部】

【安全安心グループ】豊科北中学校 木村悦士

私は、豊科北中学校二年、木村悦士（きむら えつし）です。

最近、猛暑という言葉をよく聞くようになりました。その原因の一つとして、人が使うガスや電気などの使い過ぎによる自然環境の悪化が考えられます。そこで、僕は安曇野市の環境について提言をしたいと思います。

僕の学校では、環境保安委員会でエコウィークという提案があり、節電節水を心がけようというものでした。具体的には、授業中以外の時は、扇風機を使わずにうちわであおいで涼しくしたり、節水も歯磨きやバケツの水汲みもできるだけ蛇口をすぐひねるようにするというものでした。

正直僕は、そんな事をしてあまり意味がないと思いました。なぜなら自分がやっても他の人はそれを守らないかもしれない、こんな小さなことで本当にエコになるのかと思ったからです。ですが、昨年度との使用料に比較した表を見てみると明らかに減っていました。これを見て、北中学校で呼びかけをしてこれだけ減るのだから、地域でもこのような企画を考えて実行していけば、節電や節水がもっとできて環境も良くなっていくのではないかと思います。それがもとで僕も環境について考えるようになりました。

現在僕の家では、グリーンカーテンを実施しています。グリーンカーテンをしたことでクーラーを使わなくても涼しく感じることができました。なので、各家庭でそれができるように苗を配ったり、人が多く集まる公共施設などでもグリーンカーテンにしてもらえれば節電ができてよりよい環境の安曇野になるとと思います。

僕は、この自然豊かな安曇野が大好きです。この環境をいつまでも保っていくためにこれからも環境について考えていきたいです。

【ご担当部 市民生活部】

【安全安心グループ】 寺島 美侑

私は、豊科北中学校二年、寺島美侑です。

私は、「景観づくり」についてお尋ねいたします。私が「景観づくり」の課題だと思うのは、緑をまちなかにもっと取り入れていくことです。安曇野といたら、自然豊かな街というイメージが県外や市外の方々にはあると思います。そして、ほとんどの観光客の方々は高速道路を使ってこられると思うので、インターで高速道路から降りた瞬間、「緑があって自然豊かな街だな」と安曇野にきた瞬間に思っていたら、良い印象になるのではと思います。ですが、街に木や花を植えすぎても後の手入れが大変だったり、植えるスペースをつくるための土地を確保することが大変と思われるかもしれません。また、苗の確保が難しくなるかも知れません。

その課題に対して私は、市の所有地には市に植樹をしてもらい、私有地は企業や家庭に協力を得て植樹してもらいたいと考えています。

また、苗は家庭や学校、企業で自然に出てきた実生苗を提供してもらいたいと考えています。それから、CMで家の中に木がある家があると思います。そこで私は沢山の方が利用する店の中に木を植えたらと考えています。あと、植樹するためのボランティアを集めても良いと思います。

そして、私がそのために市にお願いしたいことは、市の所有地に植樹してもらったり、企業や家庭に協力を得て植樹してもらおうことです。

また、私は植樹のボランティアがあれば積極的に参加したいです。そうすることによってこの安曇野市が緑豊かな街になっていくと考えています。

私は、もっと街に緑を取り入れていけばいいと考えています。実生苗を提供するなど自分たちも関わっていければ愛情を持ってみる事ができると思うので、緑と触れ合うという点でも良いことだと考えています。

【ご担当部 都市建設部】